

【新連載】小学校英語で行うリーディングの基礎指導とは[»その他の記事はこちら](#)**第2回 音韻認識能力を高める教室活動**

青山学院大学 アレン玉井 光江

前回少し難しかったかもしれませんが、音韻（音素）認識能力について説明しました。今回は、この大切な力を培うために私が行っている活動のうち、主要なものを紹介したいと思います。文字を見せることもたまにあります。基本、音だけで行う活動です。

1. 消しゴムゲーム

外国語活動でもよく行われている「keyword」ゲームにやり方は似ています。児童はペアになり、聞こえてくる単語の最初の音が目標としている音ではないと、消しゴムを取るといいます。例えば、目標の音を/b/とし、指導者は「bear, book, baseball, baby」などと言います。そして「sky」など/b/で始まらない単語を言うと、児童は消しゴムを取ります。

2. High-Ten ゲーム

音韻認識能力を高めるため、私はライム認識を高める活動を積極的に導入しています。この活動では目標にするライム（rime: 単語の母音、もしくは母音とそれに続く子音（群））を決めて、そうでないライムが出てくると、ペアで両手を上で合わせる、いわゆるHigh-Tenを行います。例えば、目標のライムを-at (/at)と決め、指導者は「cat, mat, hat, rat, fat」などと言います。そして「king」など異なるライムを言うと、児童はペアでHigh-Tenをします。どのペアが一番早く手を合わせられるかを競います。

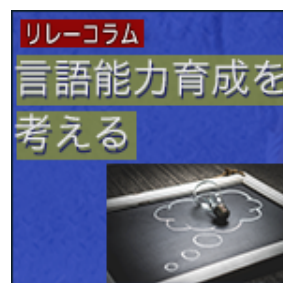
3. Sound Tennis

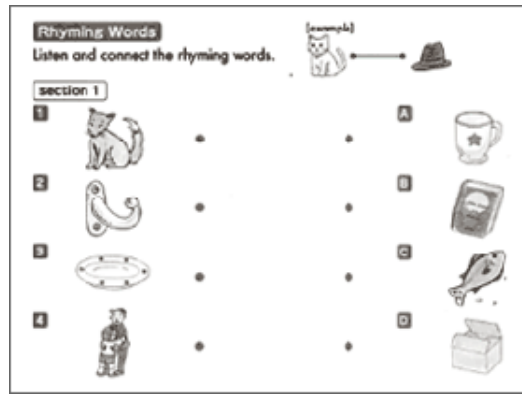
これは最近発表された公立小学校第6学年用の新教材の中でも「Sounds & Letters」の主要活動として紹介されています。「消しゴムゲーム」同様、単語の初頭音（単語の最初の子音）に気をつけることで音素認識能力を高めようとする活動です。クラスを2つに分けて、目標とする音を決め、その音から始まる単語を時間内に言い合うというゲームです。私は児童が活動に慣れるまでは、「私対児童全員」にし、慣れてきたら「男子対女子」、または「1～3班対4～6班」など、クラスを2分割します。例えば、目標の音を/m/と決めて、「それではそれぞれ3秒以内で/m/から始まる単語を言いましょ。3秒以内で言えなければ負けになります。分かったらその場で大きな声で言ってください。ただし同じ言葉は言えません。先生から始めますね。Monkey 3, 2, 1…（と自分が単語を言うとすぐ数字をカウントします）」

4. ワークシート

音韻（音素）認識能力を高めるために下記のようなワークシートも有効です。（アレン玉井、2003, 2017）

2024年度
2023年度
2022年度
2021年度
2020年度
2019年度
2018年度
2017年度
2016年度
2015年度
2014年度
2013年度
2012年度
2011年度
2010年度
2009年度
2008年度





参考文献

- アレン玉井光江 (2003). Little Readers 1, 2. 小学館集英社プロダクション
 アレン玉井光江 (2017). Little Readers 4. 小学館集英社プロダクション

【連載】 小学校英語で行うリーディングの基礎指導とは 一覧

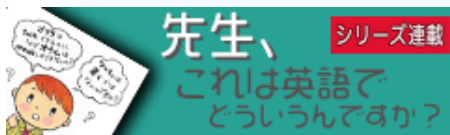
- » [第1回 音韻認識能力について](#)
- » [第2回 音韻認識能力を高める教室活動](#)
- » [第3回 フォニックスって何?](#)
- » [第4回 音素体操 ～音韻認識能力からフォニックスへ移る活動～](#)
- » [第5回 書き言語と音声言語](#)

【連載】 英語のつまずきは、アルファベットから!～～大人が気がつきにくい落とし穴～ 一覧

- » [第1回 アルファベットって何?](#)
- » [第2回 小文字って、結構大変。](#)
- » [第3回 文字を練習しながら、実は音も!](#)
- » [人気連載コラム『英語のつまずきはアルファベットから!』が冊子になりました!](#)

公立小学校における外国語について一移行期1年目に思うこと一

- » [公立小学校における外国語について一移行期1年目に思うこと一](#)



🔴 [ページトップへ](#)

- » [個人情報保護への取り組みについて](#)
- » [利用者情報の取り扱いについて](#)